

TW - 2 N(ゲーム切替え基板) 取扱い説明書

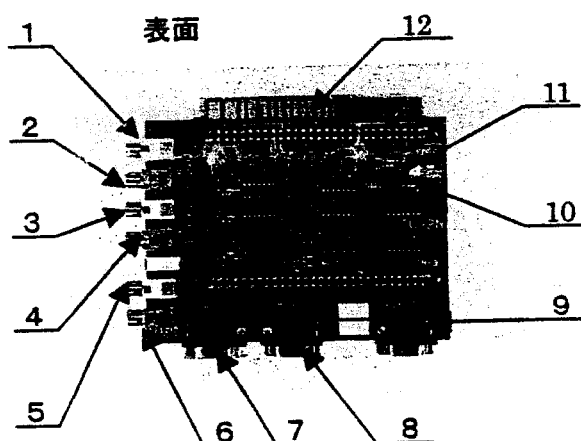
1. 用途

この基板は、2枚の基板を同時に稼働させて2枚のゲームを切替えできる基板です。

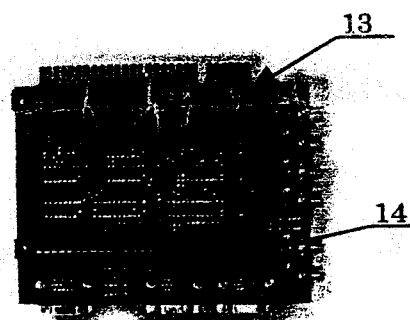
2. 特徴

- ・ JAMMA基板、新JAMMA基板の双方に対応しています。
- ・ 2種類のゲームが切替えできる事によりビデオ筐体を効率的に使用することが出来ます。
- ・ 切替え基板上の DIP SW の設定によりゲーム切替え用のスイッチを外部に取付けなくてもスタート SW でゲームを切替えする事も出来ます。

3. 部品説明



裏面



番号	名称	用途
1	SOUND-A (L)	A基板のSOUND (L)入力
2	SOUND-A (R)	A基板のSOUND (R)入力
3	SOUND-B (L)	B基板のSOUND (L)入力
4	SOUND-B (R)	B基板のSOUND (R)入力
5	SOUND-OUT (L)	A、B基板のSOUND OUT (L)出力
6	SOUND-OUT (R)	A、B基板のSOUND OUT (R)出力
7	RGB-A	A基板のRGB入力
8	RGB-B	B基板のRGB入力
9	RGB-OUT	A、B基板のRGB OUT出力
10	セレクトコネクタ	外部切替え用スイッチ配線コネクタ
11	DIP SW	切替えスイッチ設定用DIP SW
12	カードコネクタ部	JAMMAコネクタ差し込み口
13	エッジコネクタ(CN-B)	切替えによって写したい基板
14	エッジコネクタ(CN-A)	電源立ち上げ時に写したい基板

4. 本製品の使用方法

本製品は、以下の形態で使用することができます。

- (1) シングル筐体及び対戦専用筐体での使用が可能です。
- (2) シングル筐体2台の対戦での使用が可能です。
- (3) シングル筐体3台を使った対戦での使用が可能です。(※ 詳しくは、6ページをご覧ください)

5. 配線方法

— JAMMA基板の配線方法 —

- ① 筐体のJAMMAコネクタに本製品を差し込みます。
- ② 本製品の2個のエッジコネクタにJAMMA基板をそれぞれに差し込みます。
- ③ ゲーム切替え用SWの設定をして完了です。

※本製品にJAMMA基板を2枚接続する場合は、別売りの延長ケーブル(TW-2N-H)
を使用してください。

本製品に関してご不明な点がございましたら三和電子株式会社までご連絡ください。

TEL 03-3959-6611

FAX 03-3955-9208

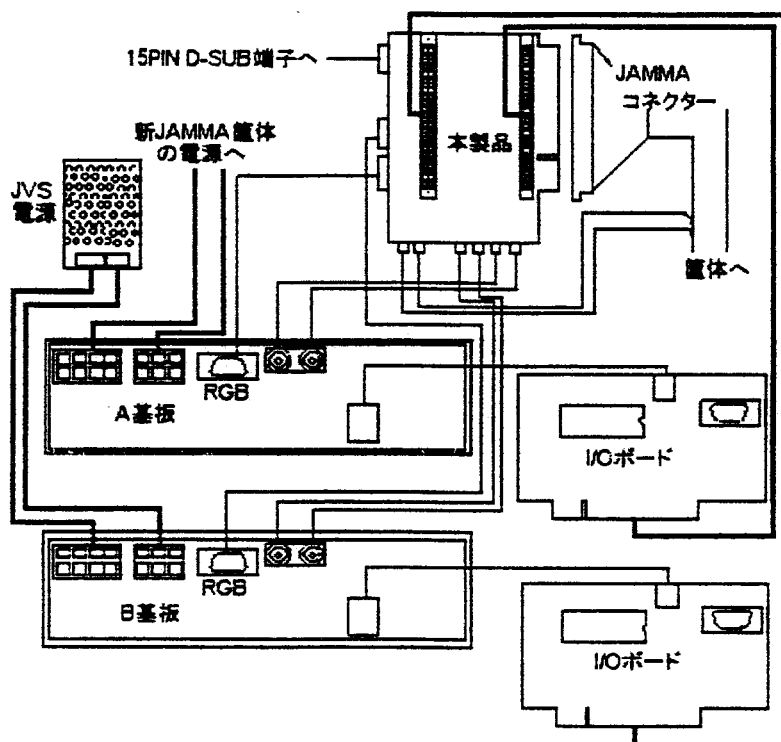
Mail tech@sanwa-d.co.jp

— 新 JAMMA 基板の新 JAMMA 筐体への配線方法 —

——注意！——

新JAMMA基板を1台の新JAMMA筐体で2枚使用する場合は、純正電源とは別にJVS電源が1つ必要になります。

配線図



- ① 新JAMMA対応筐体のJAMMAコネクタに本製品を差し込みます。
- ② 本製品の2個のエッジコネクタにI/Oボードを取付けます。
- ③ A基板の映像を切替え基板上の[RGB-A]の15PIN D-SUBコネクタに音声を[SOUND-A]のステレオジャックにそれぞれ接続します。
- ④ B基板の映像を切替え基板上の[RGB-B]の15PIN D-SUBコネクタに音声を[SOUND-B]のステレオジャックにそれぞれ接続します。
- ⑤ 本製品の[RGB-OUT]の15PIN D-SUBコネクタと新JAMMA対応筐体のモニターの15PIN D-SUBコネクタをケーブルで接続します。
- ⑥ 本製品の[SOUND-OUT]のステレオジャックに新JAMMA対応筐体からの音声ハーネスを接続します。
- ⑦ A基板とB基板のそれぞれにI/Oケーブル、電源ケーブルを接続して下さい。
- ⑧ ゲーム切替え用SWの設定をして完了です。

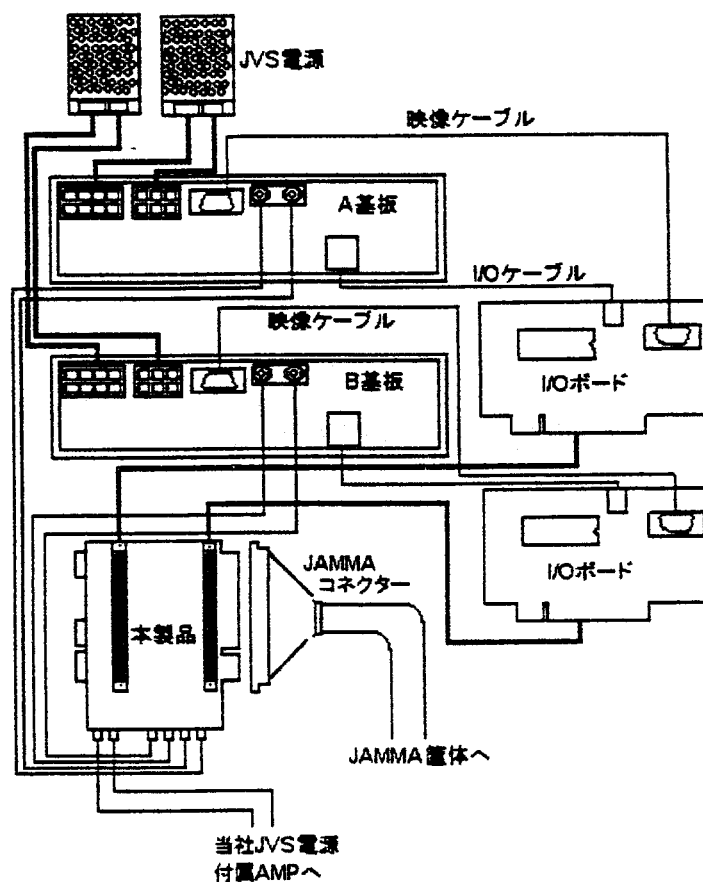
— 新 JAMMA 基板の JAMMA 筐体への配線方法 —

(当社 JVS 電源を使用した場合)

— 注意！ —

新 JAMMA 基板を JAMMA 筐体で使用する場合は、新 JAMMA 基板それぞれに JVS 電源が必要になります。

配線図

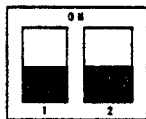


- ① 筐体の JAMMA コネクタに本製品を差し込みます。
- ② 本製品の 2 個のエッジコネクタに I/O ボードを取付けます。
- ③ A 基板の映像を I/O ボードの 15 PIN D-SUB コネクタに、音声を本製品の [SOUND-A] のステレオジャックにそれぞれ接続します。
- ④ B 基板の映像を I/O ボードの 15 PIN D-SUB コネクタに、音声を本製品の [SOUND-B] のステレオジャックにそれぞれ接続します。
- ⑤ 本製品の [SOUND-OUT] のステレオジャックを当社 JVS 電源付属 AMP に接続します。
- ⑥ A 基板と B 基板のそれぞれに I/O ケーブル、電源ケーブルを接続して下さい。
- ⑦ ゲーム切替え用 SW の設定をして完了です。

6. ゲーム切替えの設定方法

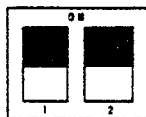
・本製品の DIP SW で下記の 4 種類の切替え方法が出来ます。

(1) 外部切替えスイッチを使用する場合



DIP SW の 1、2 を OFF にして下さい

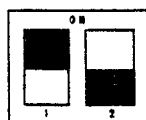
(2) 通常コンパネの 1 P、2 P スタートボタンで切替える場合



DIP SW の 1、2 を ON にして下さい

1 P、2 P それぞれの PUSH 1 ボタンが スタートスイッチ になります。

(3) 通常コンパネ及び対戦コンパネの 1 P スタートボタンで切替える場合

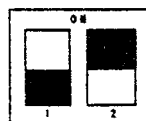


DIP SW の 1 を ON、2 を OFF にして下さい

1 P の PUSH 1 ボタンが スタートスイッチ になります。

※ 2 P のスタートスイッチでは切替わりません

(4) 通常コンパネ及び対戦コンパネの 2 P スタートボタンで切替える場合



DIP SW の 1 を OFF、2 を ON にして下さい

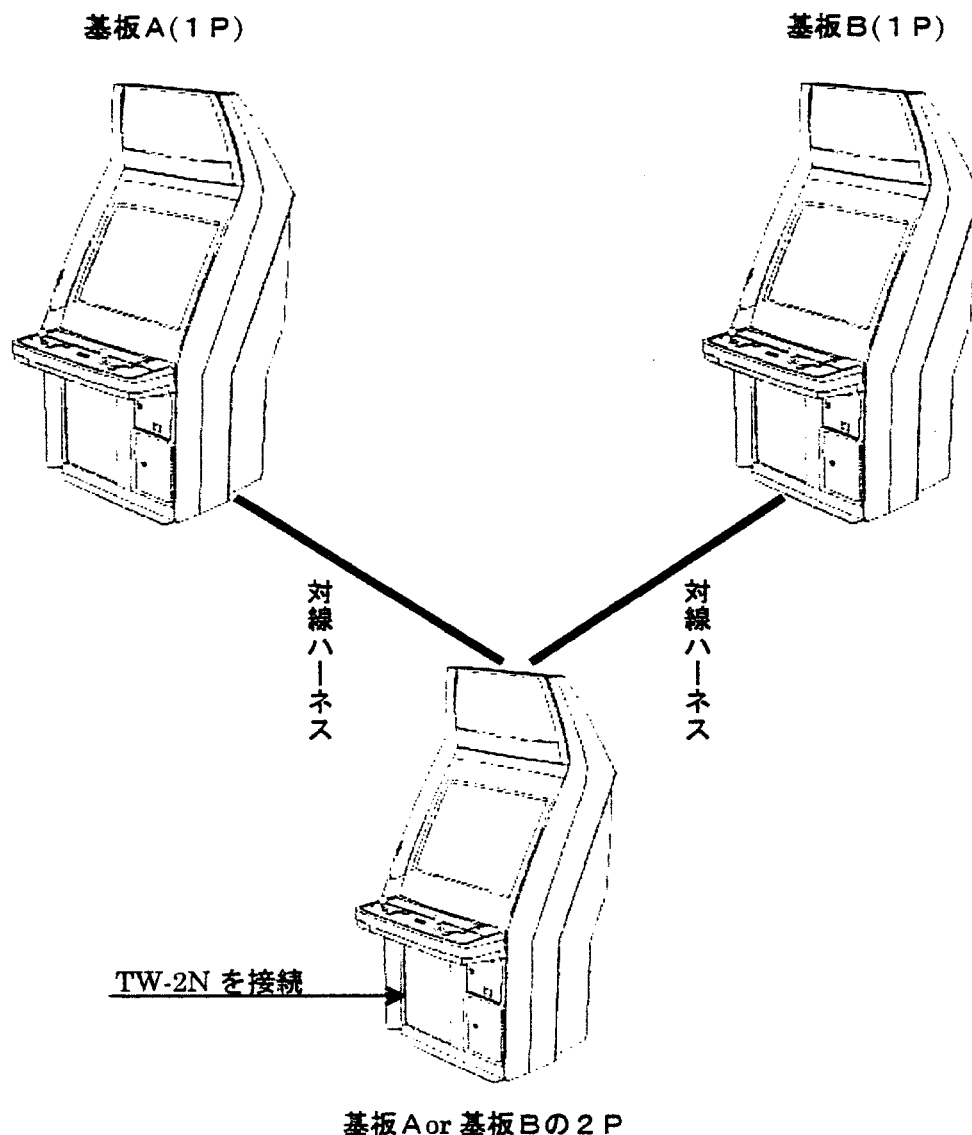
2 P の PUSH 1 ボタンが スタートスイッチ になります

※ 1 P のスタートスイッチでは切替わりません

TW-2N の使用形態について

本製品の大きな特徴としてシングル筐体×3台を使った対戦仕様について説明させていただきます。
この接続形態はシングル筐体2台にそれぞれ基板を入れ対戦台(2P側)にてどちらの対戦台になるのかセレクトできるものです。

略 図



メリットとして

- ① 通常の対戦では1タイトルに対してシングル筐体が2台必要です。
しかし2P側のインカムが低い場合、2タイトルで4台使用するのでは非効率になります。
そんな場合、本製品を使用することにより2P側筐体で1P側筐体×2台のどちらかの対戦台になるのかセレクトできるようにすれば効率的に(4台→3台)に筐体を使うことができます。
- ② 新JAMMA基板を使う場合、1Pの筐体がそれぞれ新JAMMA対応になっていれば別電源を用意する必要がなくなります。
- ③ 新JAMMA基板は配線が多いので、この形態ですとそれぞれの筐体の中をシンプルな配線にする事が出来ます。